



2019年10月28日

各 位

上場会社名 株式会社ミマキエンジニアリング
 代表者 代表取締役社長 池田 和明
 (コード番号 6638)
 問合せ先責任者 取締役経営企画本部長 清水 浩司
 (TEL 0268-80-0058)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2019年5月10日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

2020年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2019年4月1日～2019年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 四半期純利益	1株当たり四半 期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	28,950	800	650	450	14.81
今回修正予想(B)	27,350	550	400	180	6.04
増減額(B-A)	△1,600	△250	△250	△270	
増減率(%)	△5.5	△31.3	△38.5	△60.0	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2019年3月期第2四半期)	26,455	1,520	1,225	769	25.62

修正の理由

第2四半期累計の連結業績予想を、売上高27,350百万円(前回発表予想比5.5%減)、営業利益550百万円(同31.3%減)、経常利益400百万円(同38.5%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益180百万円(同60.0%減)に修正いたします。

売上高について、競争環境の激化等によりSG(サイングラフィックス)市場向けとIP(インダストリアルプロダクツ)市場向けの製品売上高が計画を下回ったことに加え、アルファーデザイングループが手掛けるFA(ファクトリーオートメーション)事業の売上高も米中貿易摩擦の影響等により、計画を下回る見通しであります。エリアでは、想定以上に円高ユーロ安が進行したこともあり、欧州エリアでの製品売上高が計画を下回る見通しであります。

利益について、SG市場向けとIP市場向けを中心に競合対策の販売キャンペーンを加速させたために販売単価が下落し、営業利益と経常利益が減少する見通しであります。親会社株主に帰属する四半期純利益の減少率が特に大きいのは、税効果会計で法人税等調整額が増加したことによるもので、特別損失等の計上によるものではありません。

なお、通期の連結予想数値につきましては現在精査中であり、修正が必要な場合は速やかに開示いたします。

※上記に記載している業績予想は、現時点で当社が入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上